



はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます
常に新しく良質な医療ができるように心がけます
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



新年ご挨拶

迎春

明けましておめでとうございます。
謹んで新春をお祝い申し上げます。

昨年は、当院においてCOVID-19によるクラスター発生が起き、行政・保健所の皆様、地域の皆様、各病院の皆様にご迷惑をおかけ致しました。的確な御指導をして頂いた感染チームの皆様や重症患者様を速やかに受け入れ、治療して頂いた各病院様には深く感謝申し上げます。また、スタッフの宿泊施設を提供して頂いたり飲み物や食べ物を差入れて頂いたり心温まる援助を多数頂き、本当に励まされました。ありがとうございました。あれから1年が過ぎようとしています。幸い、現在日本は感染は抑えられていますが、まだ終わったわけではありません。気を引き締めて感染対策を変わりなく徹底していく所存です。

今年は橋本病院開設40周年の年です。「地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり」を理念に地域医療に貢献できるよう努力して参りました。地域のニーズに合わせて、回復期リハビリテーション病棟、認知症専門病棟、それぞれの外来診療（リハビリテーション外来、認知症外来など）、通所リハビリテーションセンター、訪問リハビリテーションセンターを立ち上げました。

また、当院は25年前から日本医療機能評価機構の認定病院です。今年12月に6回目の認定を受けようと考えており新しい機能やシステム構築に取り組んでいます。

これからも医療の質向上を目指し地域の皆様に選んで頂けるような病院を作っていこうと思っております。何卒よろしくお願い申し上げます。そしていまだ世界で猛威を振っている感染症が1日も早く収束することを願っています。



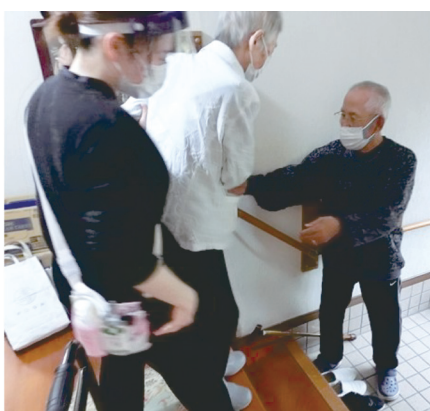
医療法人社団和風会 橋本病院
理事長 橋本 康子

回復期リハビリテーション病棟

～ 外出練習について ～

これまで回復期リハビリテーション病棟では、ご自宅に退院された後の生活が安心・安全に過ごせるように、患者様との外出練習を行ってきました。昨年より新型コロナウイルス感染症の流行もあり外出練習を一時中止していましたが、感染対策に留意した当院独自のルールを設け、感染症対策を職員だけでなく患者様やご家族様にも、十分にご理解して頂いた上でご協力を得ながら外出練習を再開しています。

上がり框での介助方法の指導



実際の生活環境を把握することで、ベッドの位置やリビングの椅子の選択など、退院に向けての環境設定や今後のリハビリの方向性、必要な支援がより具体的になります。またご自宅で動作指導を行うことは、退院後の生活の不安の解消に繋がっています。

ご自宅訪問時 チェックリスト (2021.12.7～)

新型コロナウイルス感染症予防のため、ご自宅へ入る前に次の項目を確認させていただきます。ご協力をお願いいたします。

確認は、同居、同席される家族様全員、参加される方全ての方をお願いします。

- サージカルマスクをきちんと装着されていますか。
- 参加される方は37.0度以上の熱はございませんか。
- 「発熱」「咳」「鼻水」「のどの痛み」「匂い・味の異常」「嘔気・嘔吐・下痢」等の症状はありませんか。
- 参加される方、その勤務先等に、「インフルエンザ」「感染性胃腸炎」「上記症状」等の方はいませんか。
- 参加される方、その勤務先等に、2週間以内に新型コロナウイルス感染症患者との濃厚接触した方はいませんか。

該当する場合には、**ご自宅への訪問が中止**となります。

※訪問中は、適切なマスク着用、換気の徹底にご協力をお願いします。スタッフは、可能な範囲で距離を保ちながら対応させていただきます。

帰院時のチェック

- 患者様、同行スタッフは手指消毒を済ませて乗車してください。

認知症治療病棟

～ 季節に合わせた病棟での活動 ～

認知症治療病棟では、患者様に病棟の中でも季節の変化を体験して頂けるよう、月のイベントに応じた活動を実施しております。昨年より新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントでの積極的な屋外への外出が難しくなったため、感染対策を行いながら病棟内での活動を中心に実施しています。

10月にはお祭りシーズンに合わせ、地元の祭りのDVD鑑賞や太鼓台等の写真の飾りつけを行ったり、スタッフによるピアノ演奏に合わせて「たき火」「ふるさと」など昔ながらの曲を聴いたり口ずさんだりしました。

11月は実物のさつまいもや落ち葉を患者様に触って頂き、ライトを火に見立て焚火を模した焼き芋体験等を実施しました。また味覚からも季節を感じていただくため、患者様と一緒にさつまいもを使ったお菓子作りを実施しました。参加された患者様からは「立派な芋やな」「甘くて美味しい」と、さつまいもに触れた感想やお菓子の味の感想など、様々な反応を頂くことができました。病棟内で患者様に季節の変化を感じて頂くため、様々な活動を取り入れ、穏やかに入院生活が送れるよう努めさせていただきます。

さつまいものお菓子作り



本物のさつまいもを使用した焼き芋体験



リハビリDVD「軽体操、指を使った体操」のご紹介

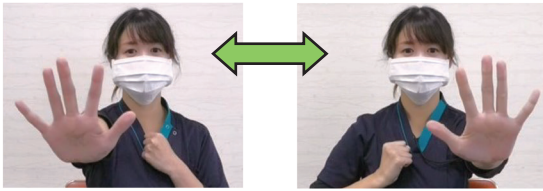
昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行により、外出機会が減っていることと思います。外出機会が減ることで、身体機能や認知機能の低下も少なからず影響を受けてしまいます。

そこで、患者様や地域の方へ、少しでも身体機能・認知機能の向上、維持をサポートできないかと思い「軽体操、指を使った体操」をDVDにまとめましたのでご紹介します。

内容は、「一人でできる」「家族と一緒にできる」「座って安全にできる」ものとなっており、頭で考えながら体を動かすことができるような課題にしています。今回はDVDの中から2種類の体操をご紹介します。



「グー・パー体操」



前方に出した手はパー、もう片方の手は胸の前でグー。次に同時に左右を変えます。必ず前方の手はパー、胸の前の手はグーにします。肩や肘を大きく動かすことで、身体機能にも好影響です。

「指折り体操」



両手の指折りを同時にしながら30までの数字を声に出して数えます。慣れてくると、片方は親指から、もう片方は小指からやってみましょう。一見簡単そうに見えますが、アレンジをするなど工夫もしやすいと思います。

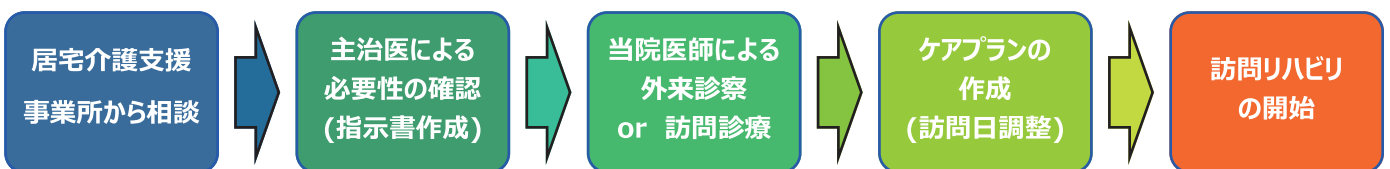
どれも簡単な体操ですので、身体機能・認知機能の維持のためにも毎日継続して行って頂ければと思います。今後は、このDVDを在宅でお過ごしの方や当院に通院中の患者様、地域の高齢者の方々にお配りし、運動習慣の手助けができればと考えております。お配りする際はご案内させていただきます。

訪問リハビリテーションセンターはしもと

訪問リハビリでは、ADL自立、介助量軽減の為の機能訓練だけでなく日々の活動や社会参加の獲得に向けリハビリを提供しております。筋力を維持する為の筋トレも止めてしまえば元に戻ってしまう為、在宅生活では日々の活動性を高める事が重要になります。そこで、訪問リハビリでは介護保険によるサービスだけに頼るのではなく、利用者様のライフスタイルにあった活動の再獲得を図ることで、日々の活動量を向上させ元気な身体作りが行えるように支援させて頂いております。

訪問リハビリ利用開始までの流れ

介護保険利用による訪問リハビリテーション実施までの主な手順をご紹介します。



提供日・提供時間・提供地域

提供日： 365日（12月31日～1月3日は除く）
 提供時間： 月～日 午前9時～午後5時
 提供地域： 三豊市、観音寺市、仲多度郡、善通寺市、丸亀市の区域
 ※中山間地区とされる指定地域(A地域)を除く。
 種類： 指定訪問リハビリテーション・平成27年6月1日
 (香川県第3710810106号)



事前訪問、ご質問等お気軽にご連絡下さい!

訪問リハビリテーションセンターはしもと

センター長：佐藤 勇人

電話：0875-63-3800(直通)

0875-63-3311(病院代表)

0875-63-2651(FAX)



栄養部

脳きり教室に行ってきました！！

三豊市の一般介護予防事業の一環として開催されている「脳きり教室」の講師として参加させて頂きました。

毎月バラエティーに富んだ内容で開催されており、11月は「認知症と食生活の関係」ということで、山本町、財田町、豊中町、高瀬町、仁尾町、詫間町、三野町の7町へ行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり例年より参加者は少ないそうですが、個別に食事のアドバイスなどできた会場もありました。

手ばかり法の話（食事の量）やバランスよく食べるための合言葉など、

興味を持っていただけるように、食事のクイズや脳を活性化させるクイズを取り入れました。



講演の中で意外と苦戦していたクイズをご紹介します。

クイズ

脳を活性化させよう!!

「3文字」の野菜を5つ以上あげてみましょう。

みなさんは何個あげれましたか？



栄養管理委員会

回復期リハビリテーション病棟 入院患者様の栄養について

例：70歳 男性 身長160cm 体重62kg

一般男性の場合

エネルギー必要量 1744Kcal/日

リハビリテーションを行う入院患者様の場合

エネルギー必要量 2242Kcal/日

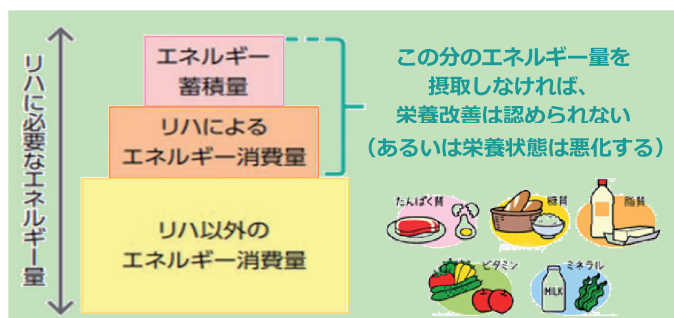


～ エネルギー必要量の考え方 ～

リハビリテーションを行っている高齢者の40～46%にサルコペニアを認めると報告されています。回復期リハビリテーション病棟では急性期病院に比べ、リハビリテーションにおける運動量に加え、入院生活における活動量も増加しておりエネルギー必要量は多くなります。

エネルギー必要量を設定する場合には、リハビリテーションによるエネルギー必要量を考慮する必要があります。リハビリテーションの運動強度や時間によっては、

100～500Kcal/日以上が消費されるため、リハビリテーションの効果を高めるために適切なエネルギー量が必要となります。



サルコペニアとは

サルコペニア (sarcopenia) とは、「骨格筋・筋肉(sarco)の減少(penia)」を意味する造語です。

サルコペニアの原因には、加齢のみを原因とする原発性サルコペニアと、活動・栄養・疾患を原因とする二次性サルコペニアがあります。サルコペニアの原因は1つではなく複数認めることが多いため、リハビリ栄養の視点で包括的に評価・対応することが必要です。

医療安全管理体制委員会

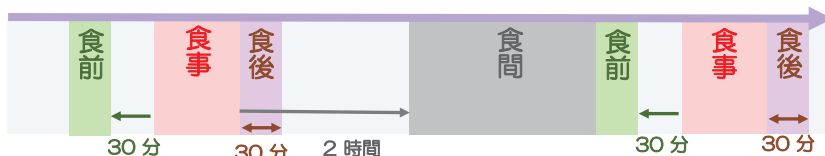
～ 安全な服薬について ～

くすりを飲むときに大切なポイントがいくつかありますのでご紹介します。



① タイミング

食前、食後、食間、頓服（とんぷく）など、決められた時間に飲みましょう。タイミングには理由があります。たとえば貧血のくすりなどは、食物がないと胃を痛める可能性があるため、食事の後（食後）に飲むよう決められています。



② 量

自己判断で飲む量を増やしたり減らしたりするのは避けましょう。

③ 飲み方

飲み薬はコップ1杯のお水で飲みましょう。くすりの中にはお茶やジュースで飲むと効果が変わってしまうものもあるので、心配なときはご相談ください。

④ 期間

処方された日数分、くすりは飲み切りましょう。治ってきたからと、途中で飲むのをやめないように気をつけましょう。

⑤ 飲み合わせ

一緒に飲んではいけなくすり、食品があります。別の病院でもらっているくすりがあるときや、市販のおくすりを飲んでいるときはご相談ください。



くすりは飲み方を変えると効かなくなったり悪い作用が出ることもあります。先生の指示に従って効果的な服薬をしましょう。



防火防災委員会

消火訓練

丸山防災様ご指導の下、消火訓練を行いました。冬に入ると暖房器具の使用や乾燥により火事が起こりやすくなっています。当院職員が普段から火災に備えて訓練を行うことで防災意識を高めています。病院内にはスプリンクラーや探知機などの災害時に必要な設備を備えています。初期消火などは職員が行うことが予想されるため、日々の訓練が欠かせません。消火器の使用方法などを知っておくことでいざという場面で落ち着いて行動することができます。



使用方法

STEP 1



黄色のピン（安全栓）に指を入れます。

STEP 2



垂直方向にピンを抜きます。

STEP 3



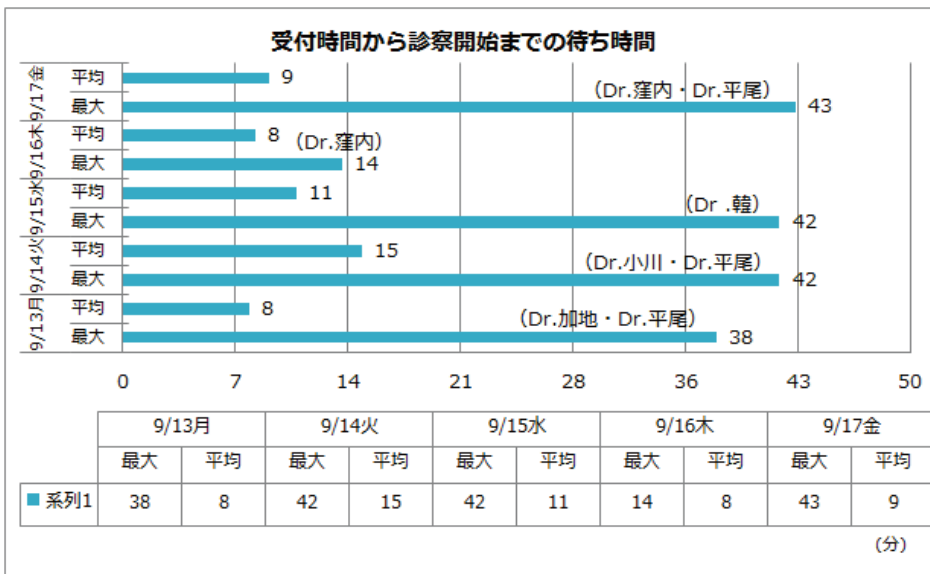
ノズルを火元に向けレバーを握ると消火薬剤が噴射します。



患者サービス委員会

外来待ち時間調査

患者サービス委員会では定期的に「外来待ち時間調査」を実施しています。病院に行く待ち時間が長くて疲れたり次の予定があったりと、大変な経験をした方も多くいるのではないのでしょうか。当院では少しでも待ち時間の短縮に繋がるよう、待ち時間調査を実施しています。今回は9月に実施した「外来待ち時間調査」をご紹介します。



調査期間での平均は15分以内でしたが、最大約40分お待ち頂く方もいました。今後、待ち時間が発生する時には、事前に『只今お待ち頂くようになります』と理由も含めて声かけを行うように努め、待ち時間が少なくなるような予約の取り方も考慮していきます。



地域連携部

退院後生活のアンケートはがき「しゃしゃこやき」について

回復期リハビリテーション病棟から退院された一部の方に、「しゃしゃこやき」というはがきを郵送しています。はがきの内容は、退院後にお体の変化がないかをお伺いするアンケート面と「しゃしゃこやき」についての説明面の往復はがきです。アンケートへのご回答内容を確認させていただき、私共の支援が十分であったか、見落としはなかったか、実際にはどのような支援が必要であったか、私共の支援がご自宅で活かされ続けているかどうかを知り、より良き医療の提供に繋げようというものです。多数のご回答のなかで感謝や激励の言葉も頂いており、励みになっております。はがきがお手元に届いた際はぜひご回答ください。

「しゃしゃこやき」は「いらぬおせっかい」という讃岐弁だそうです。

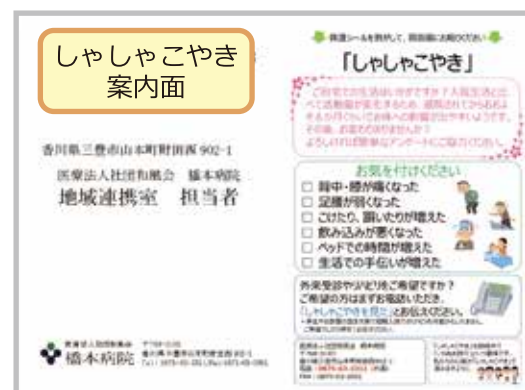
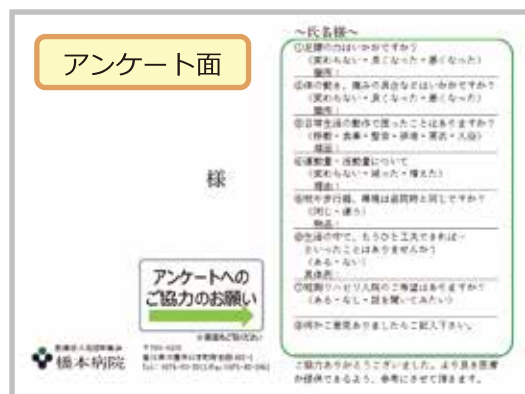
私共の心配がしゃしゃこやきで済みますようにという願いを込めて、この名前をつけました。



入院相談はお気軽にご連絡ください！

地域連携部 窓口：大西 宏美 電話：0875-63-3552 (直通)

認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



病院実績

回復期リハビリテーション病棟 合計89床（1病棟29床、2病棟60床）

2021年度 前期 実績

年月	平均在院日数 (日)		発症から入院までの平均日数 (日)					退院患者数及び退院先 (日)				
	1病棟 (29床)	2病棟 (60床)	脳血管		運動器		廃用 症候群	自宅	施設	病院	その他	(合計)
			180日	150日	90日	60日						
4月	75	84	27	60	16	-	11	18	6	2	0	(26)
5月	67	70	27	17	20	48	17	13	5	4	0	(22)
6月	80	84	39	32	26	-	-	11	6	5	2	(24)
7月	81	84	38	31	25	97	83	18	6	2	4	(30)
8月	94	85	34	25	29	-	75	12	3	8	2	(25)
9月	91	90	50	39	30	71	16	20	4	3	1	(28)

リハビリテーションオンライン中継

この度、三豊総合病院 脳神経外科病棟様からご紹介頂いた患者様について、当院でのリハビリテーションの様子を中継する取り組みを開始しました。

初回は12月に行われ、歩行場面、活動場面、会話場面などを見て頂いたり、三豊総合病院の職員の方、患者様、当院の職員と交流させて頂きました。患者様の良くなりつつある姿を見て、感動や感激の声も聞かれました。患者様は三豊総合病院の看護師さんに、いつも以上の笑顔で手を振って応えていらっしゃいました。患者様のモチベーションアップにもつながる非常に良い機会となりました。

【お問い合わせは地域連携部まで（直通0875-63-3552）】



職員募集のお知らせ

募集

看護師・准看護師
介護福祉士・介護職
※ 常勤・非常勤問わず



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>
TEL 0875-63-3311（人事担当：井上）

医療法人社団和風会 橋本病院
〒768-0103
香川県三豊市山本町財田西902番地1
TEL：0875-63-3311
FAX：0875-63-2651
入院相談直通電話：0875-63-3552
E-mail：hashimoto-hp@wafukai-hashimoto.jp
HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp
発行元：橋本病院 広報委員会

医療 回復期リハビリテーション病棟 89床
認知症治療病棟 67床

介護 橋本病院指定居宅介護支援事業所
通所リハビリテーションセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

